

東海の地に労働運動の灯を燃やし続けるため、
難局を乗り越え、共に奮闘しよう！

代表者会議開催

10月3日、JR東海労名古屋地本は代表者会議を開催しました。JR東海労中央本部より畑野副委員長、分会組合員参加のもと、当面する課題と今後の闘いに向けての意思統一を図ってきました。

冒頭、松山委員長より「9月12日、JR総連からの「除名」制裁処分が出された。統制委員会設置から僅か3ヵ月での結論であり、処分はあらかじめ決められていたと言える。改めて抗議の意志を明らかにするとともに、内外からの組織破壊攻撃を許さない体制を創り、名古屋地本は一致団結して更に組織の強化と拡大を図っていく。」と提起しました。



松山委員長の決意と提起

会議は職場討議資料をもとに、改めて何故JR総連からの処分なのか、その根源は何か、本質は何かを掴み取る為、参加者全体で論議をしてきました。

御辺書記長からは「今日参加できなかった全組合員にはしっかり説明する場を創り、全ての労働者と連帯していく。そしてこの難局を乗り越え名古屋地本は更に組織の強化と拡大を目指す。」とまとめ、会議を終了してきました。

私たちJR東海労名古屋地本は、JR総連からのこの「除名」制裁処分に対して、断固抗議をするとともに、JR東海労方針を否定する者からの組織破壊攻撃を許さず、真面目なOBと共にJR東海労の組織展望を創る闘いを進めていきます。